

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書

西都市教育委員会

報 告 書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について、報告書を提出する。

平成28年 9月 8日

西都市教育委員会

委員長 橋 口 玄 郎

○自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を行うこととなった。

西都市教育委員会としては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その効果等を踏まえて改革に取り組んできたところである。

教育政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは施策を的確に遂行するとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要であることから、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を行うこととした。

○点検・評価について

「教育委員会の活動」「教育委員会が管理・執行する事務」「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3つの項目に大分類した。

項 目	点検・評価方法
大項目1 教育委員会の活動	教育委員会の会議の運営改善、保護者や地域住民への情報発信などを中項目とし、それぞれに小項目を設定して点検・評価を行う。
大項目2 教育委員会が管理・執行する事務	西都市教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき中項目を設定して点検・評価を行う。
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	当初予算に計上された事務事業に対する実績、評価及び課題等を行い、その達成度を5段階評価とする。 評価5 達成度概ね100% 評価4 達成度概ね 80% 評価3 達成度概ね 60% 評価2 達成度概ね 40% 評価1 達成度20%未満

○評価委員会について

「教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱」に基づき、委員3名を委嘱し、上記の点検・評価の結果について意見等を求め、その客観性及び透明性を確保する。

○公表について

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書」を議会へ提出するとともに、市のホームページで公表する。

西都市教育委員会の自己点検・評価シート

大項目 1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会の会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	定例会を毎月1回開催した。また、必要に応じ臨時会を2回開催した。上程議案は36件であり、全件とも承認であった。
	② 教育委員会会議の運営上の工夫	定例会において2か月後の定例会開催日時を決定し、全員出席できるよう調整した。また、会議の5日前までに資料を事前配付した。このことにより各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討ができた。
(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	傍聴希望の申し込みはなかった。
	② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	教育委員会会議の議事録をホームページへ公開した。
(3) 教育委員会と事務局との連携	① 教育委員会と事務局との連携	委員会の会議が事後承諾にならないように、事前に資料提供を受け、各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討を行った。平成27年度も、会議1週間前の情報提供が、概ね達成できた。
(4) 教育委員会と首長部局の連携	① 教育委員会と首長との意見交換会の実施	下記のとおり首長部局との連携を図った。 ・市長と教育長を含め教育委員5名が、県立高等学校活性化推進協議会において、意見交換を行った。 ・市長、副市長と教育長の調整会議を4回開催した。 ・平成27年度より設置された総合教育会議において、市長と教育長を含めた教育委員5名による会議を4回行い、西都市教育大綱が策定された。
(5) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	下記のとおり研修を行った。 ・宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会に3名参加 ・児湯教育委員会連絡協議会秋季研修会に全員参加 ・県主催市町村教育委員会新任委員研修会に1名参加 ・九州都市教育長協議会研究大会に教育長が参加 ・教育委員視察研修に3名参加

(6) 学校及び教育施設 に対する支援・条 件整備	① 学校訪問	全ての小中学校（分校を含む）の学校訪問を実施し、教育課程及び学習指導、生徒指導について適切な指導助言を行うことができた。学校ごとに隔年で県教育委員会に支援を求め、県との合同訪問を行っており、平成27年度は7校で実施した。
	② 所管施設の訪問	全校実施の学校訪問に併せて、学校施設の視察を行った。

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	点検・評価
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定に関する事	平成27年度において、第四次西都市総合計画後期計画（平成28年度～32年度）及び西都市教育大綱が策定されたため、平成27年度教育基本方針並びに教育施策の内容を見直し、平成28年度教育基本方針並びに教育施策を定めた。（4月定例会において承認確定）
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関する事	平成27年度中の設置・廃止はなかった。
(3) 教科内容及びその取扱いの一般方針の決定に関する事	小中高一貫教育に伴う「さいと学」「セレクト国語」「セレクト算数」「英語活動」「英会話科」「英語表現科」の充実を目指し、各学校の実態に応じた異校種間の乗り入れ授業の推進を図った。
(4) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免に関する事	平成28年4月の人事異動に際し、市長部局からの職員の人事交流についての協議に対して承諾を行い、その結果が異動に反映された。
(5) 県費負担に係る校長の任免及び人事並びに県費負担に係る教職員の人事の内申に関する事	平成28年4月の人事異動に際し、県の人事異動方針をふまえ人事に関する内申を行い、概ねその意向が異動に反映された。
(6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針及び分限（本人の意に反する場合）又は懲戒に関する事	教育委員会事務局の人事については、市長部局と交流を図るなど協議を行った。 分限及び懲戒については市長部局の基準を準用している。 県費負担教職員の人事については、県教育委員会にて対応している。 分限及び懲戒については、市町村立学校職員の分限に関する条例及び市町村立学校職員の懲戒に関する条例により県教育委員会にて対応している。平成27年度中の分限懲戒の対象者はなかった。
(7) 学校その他の教育機関の敷地の設定又は変更に関する事	平成27年度中において、給食センター施設敷地の利用面積に変更はないが、敷地の一部としてこれまで借地により使用していた敷地用地2,999.23㎡について、用地取得し市有地とした。

中項目	点検・評価
(8) 教育委員会規則及び規程の制定及び改廃に関する こと	「西都市教育振興基金条例施行規則」など5件の規則の制定または一部改正並びに規程1件の一部改正を行った。
(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に関する こと	<p>下記のとおり原案の承認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月補正予算 (5月定例会) 1件 ・9月補正予算 (8月定例会) 1件 ・12月補正予算 (11月定例会) 1件 ・3月補正予算 (2月定例会) 1件 ・新年度予算 (2月定例会) 1件 ・その他法改正等に伴う条例改正等の原案 3件
(10) 教育委員会の所管に属する各種委員会委員の任命 又は委嘱に関すること	<p>下記のとおり委嘱又は任命した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西都市教育研究センター主事及び事務職員の任命並びに主任研究員及び研究員の委嘱 (4月定例会) ・西都市青少年育成センター青少年指導委員の委嘱 (4月定例会) ・西都市社会教育委員の委嘱 (5月定例会) ・西都市公民館運営審議会委員の委嘱 (5月定例会) ・西都市市立図書館協議会委員の任命 (5月定例会) ・西都市歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱 (6月定例会) ・西都市文化財保存調査委員会委員の委嘱 (6月定例会) ・西都市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱 (8月定例会) ・西都市文化財保存調査委員会委員の委嘱 (9月定例会) ・西都市学校給食調理等業務民間委託に係る受託者選考委員会委員の委嘱 (12月定例会) ・西都市教育支援センター指導員の委嘱 (3月定例会) ・西都市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱 (3月定例会) ・西都市社会教育指導員の任命 (3月定例会) ・西都市青少年育成センター青少年指導員の委嘱 (3月定例会)
(11) 校長及び教職員の研修の一般方針の決定に関する こと	平成27年度教育施策を検討する中で、教職員研修の充実に関する内容を定めた。
(12) 通学区域の設定又は変更に関すること	平成27年度中の設定・変更はなかった。
(13) 西都市文化財保護条例による文化財の指定及び解 除に関すること	平成27年度中の指定・解除はなかった。

中項目	点検・評価
(14) 請願、陳情及び訴訟又は異議の申立てに関する こと	平成27年度中の訴訟・異議の申立てはなかった。
(15) 行政手続法及び西都市行政手続条例に基づく審査 基準及び処分基準の制定又は改廃に関する こと	平成27年度中の制定・改廃はなかった。

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目 1 学校教育の充実

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(1) 教育委員運営事業	<p>【目的】 地方自治法において設置が義務付けられる教育委員会において、教育方針の決定等を行うために必要な支援をすることを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>1. 教育委員会会議 教育方針の決定、教育委員会事務局に関する議案等について、調査・審議を行う。 (1) 定例教育委員会 (毎月1回) (2) 臨時教育委員会 (随時)</p> <p>2. 学校訪問 市内小中学校における教育課程、学習指導及び生徒指導等について、教育委員より指導助言を計画的に行う。</p> <p>3. 教育委員研修会・連合会総会等 教育委員の資質向上、先進地情報の取得及び情報交換等を目的に会議、研修会へ出席により教育行政に反映させる。</p> <p>【効果】 定期的な教育委員会会議の開催により意思形成を円滑に進めることができ、また、教育委員の資質向上及び情報取得等を目的に委員が総会及び研修会等に参加することにより、その成果を教育方針及び教育行政へ反映することができる。</p> <p>【指標】 教育委員会開催回数 15回 【平成27年度当初予算額】 2,723千円</p>	<p>1. 教育委員会会議 ・ 定例会 12回 (毎月1回) ・ 臨時会 2回 (随時) ・ 上程議案 36件 (全件承認) ・ 教育方針の見直し 平成28年3月定例会で素案検討 (4月定例会で決定)</p> <p>2. 学校訪問 ・ 市主催 5校 ・ 県市合同 7校</p> <p>3. 教育委員研修会・連合会総会等 ・ 宮崎縣市町村教育委員会連合会研究大会に3名参加 ・ 児湯教育委員会連絡協議会総会に全員参加 ・ 児湯教育委員会連絡協議会秋季研修会に全員参加 ・ 県主催市町村教育委員会新任委員研修会に1名参加 ・ 九州都市教育長協議会研究大会に教育長が参加 ・ 宮崎縣市町村教育委員会連合会総会に2名参加 ・ 市町村教育委員会委員長・教育長会議に2名参加 ・ 宮崎県都市教育長協議会に教育長が参加 (4回) ・ 宮崎県教育委員会との意見交換会・情報交換会に1名参加 ・ 教育委員視察研修に3名参加</p> <p>【実績】 教育委員会開催回数 14回 【平成27年度決算額】 2,602千円</p> <p>【指標等の達成状況】 教育委員会開催回数については、毎月開催する定例教育委員会12回及び臨時教育委員会は、今回は人事議案に係る臨時会を2回開催した。また、九州地区市町村教育委員会連合会研修大会等2つの研修会が台風のため中止となったが、その他の行事等についてはほぼ予定どおり実施できた。</p>	5
(2) 事務局管理費	<p>【目的】 諸ニーズに即した学校再編、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価など、教育の充実及び教育委員会事務局の運営に資することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>1. 教育長公務調整事務 2. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価事務 3. 学校再編に係る事務 4. 教育委員会表彰事務 5. 利付国債の管理事務 6. 奨学生等選考委員会による奨学生等の選考事務 7. 教育委員会マイクロバスの運行管理 8. 小中学校の文書送達及び回収業務</p> <p>【効果】 教育委員会による教育方針を受けて生じる教育委員会事務局事務につい</p>	<p>1. 教育長公務を教委定例課長会 (月1回) 時及び随時に調整 2. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を9月に市議会へ報告し、10月にホームページで公開 3. 小学生2名、中学生19名を教育委員会表彰 4. 国債満期後に、財産売却収入として受け入れ、「西都市教育振興基金」を設置 5. 奨学資金基金の新規貸付数 3名 6. 教育委員会マイクロバス稼働日数 131日 7. 小中学校の文書送達及び回収業務を(社)西都市シルバー人材センターへ業務委託し実施。</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>て、学校教育及び社会教育の枠を超えたこの事業で行うことで、効率的に運営することができる。</p> <p>【指標】 教育に関する事務の点検及び評価に係る委員会開催回数 2回 【平成27年度当初予算額】 6,910千円</p>	<p>【実績】 教育に関する事務の点検及び評価に係る委員会開催回数 2回 【平成27年度決算額】 6,401千円</p> <p>【指標等の達成状況】</p> <p>教育に関する事務の点検及び評価に係る委員会については、2回開催し、報告書案の概要説明、委員の意見の集約等を行った上で、報告書を議会に提出し、公表を行った。また、「西都市教育振興基金」の設置により、国債の利子のみで実施困難であった事業を原資を取り崩しての事業へ転換した。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(3) 教職員住宅管理事業	<p>【目的】 教職員住宅の維持管理を目的とする。</p> <p>【内容】 教職員住宅33戸の維持管理費。主なものは、修繕費、借地料など。</p> <p>【効果】 ほとんどの教職員住宅が学校の近くにあり、緊急時に対応ができる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 5,745千円</p>	<p>下記のとおり教職員住宅の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕件数 18件 ・敷地賃借件数 7件 ・未入居戸数 9戸 <p>【平成27年度決算額】 5,628千円</p> <p>【指標等の達成状況】</p> <p>教職員住宅の修繕を18件行い、入居者の要望に沿った維持管理を実施した。また、修繕等が困難な3棟の教職員住宅を計画どおり解体し、住宅周辺の環境改善を行うことができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(4) 山村留学振興事業	<p>【目的】 銀鏡地区における地域教育の振興及び地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 山村留学制度実施事業に対する支援 西都市山村留学制度実施事業補助金交付要綱に基づき、山村留学児童生徒が銀鏡地区において生活することとなる家庭（里親）に対する委託料（留学児童生徒が生活等行ううえで必要となる最低限の費用）、地域住民との交流経費及び山村留学制度PR費等の一部について補助し、地域教育の振興及び地域の活性化を図る。 2. 銀上小学校・銀鏡中学校に係る区域外就学児童生徒の通学に対する支援 西都市立銀上小学校及び銀鏡中学校に係る区域外通学生に対する通学助成金交付要綱に基づき、区域外通学する児童生徒の保護者の負担軽減を図る。 <p>【効果】 地域教育の維持が可能となると共に、地域活動の充実による地域活性化と地域経済に対する効果が生じている。また、山村留学制度を銀鏡地区のPRツールとすることにより、銀鏡地区の情報発信効果、更には高付加価値化を得ることができている。</p> <p>【指標】 山村留学児童生徒数 18名 【平成27年度当初予算額】 7,560千円</p>	<p>下記のとおり山村留学に対する支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥日向銀上山村留学実行委員会に対し、里親経費や広報活動経費等を対象とした補助金を交付した。 <p>【実績】 山村留学児童生徒数 14名 【平成27年度決算額】 6,179千円</p> <p>【指標等の達成状況】</p> <p>実施主体である実行委員会に対し、事業内容に沿った支援を実施することで、地域教育の維持及び地域の活性化を図ることができた。指標である山村留学児童生徒数は14名の実績であるが、人数に応じた経費等の支援は概ね達成できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(5) 小学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること</p> <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、児童の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 128,746千円</p>	<p>下記のとおり小学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 6名 ・委託件数 19件 警備、空調設備保守、環境整備、自家用電気工作物保安管理、消防施設等点検業務ほか ・工事件数 4件 徳北小関係 2件 教室照明増設、体育館バスケット装置撤去 都於郡小関係 2件 教室照明増設、体育館スロープ設置 ・備品購入件数 21件 児童用机椅子、図書室テーブル、理科実習用テーブル、会議室用椅子 ほか <p>【平成27年度決算額】 122,042千円</p> <p>【指標等の達成状況】 校舎等の修繕を209件実施するとともに、環境衛生調査で指摘のあった照度の改善等の工事を実施することで、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(6) 小学校教育振興事業	<p>【目的】 小学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること</p> <p>【効果】 授業の中で効果的に活用できる教材等を整備することで、各学校で定めた教育目標の達成や児童の学校生活・授業が充実し、教育水準の維持・向上を図ることができる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 47,274千円</p>	<p>下記のとおり小学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 74件 理科備品、デジタル教科書 ・遠距離通学補助交付児童数 50名 第2条第1号該当 35名 (4km以上) 第2条第3号該当 15名 (指定する学校でバス利用) ・就学援助児童数 162名 <p>【平成27年度決算額】 46,895千円</p> <p>【指標等の達成状況】 教科用図書の採択替えの年であり、採択替えに伴う教材、図書の購入及びデジタル教科書を導入し、学校生活・授業の充実を図ることができた。また、補助及び扶助について適正な処理を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(7) 小学校耐震補強事業	<p>【目的】 児童が安心して学べ、また、災害時には地域住民の避難場所としての役割もある学校施設の耐震化が遅れているため、可能な限り早期に耐震補強を行う。</p> <p>【内容】 校舎：徳北小、茶臼原小、三納小、都於郡小、三財小の耐震補強工事及び外壁劣化補修工事 体育館：徳北小、茶臼原小、三納小、都於郡小、三財小の耐震補強工事</p> <p>【効果】 学校教育環境の充実及び児童の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p>	<p>下記のとおり耐震性のない小学校屋内運動場の耐震補強ほか工事を行った。</p> <p>屋内運動場：徳北小、茶臼原小、三納小、都於郡小、三財小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託件数 3件 ・工事件数 9件 <p>【実績】 小学校の耐震化率 100%</p> <p>【平成27年度決算額】 131,825千円</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【指標】 小学校の耐震化率 100.0%</p> <p>【平成27年度当初予算額】 81,861千円</p>	<p>【指標等の達成状況】 本年度、屋内運動場の耐震補強を実施し、校舎及び屋内運動場とも耐震化率100%を達成できた。また、耐震補強事業の一環として、防災機能強化による照明改修(LED化)及びバスケットゴールワイヤ補強を行い、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(8) 妻南小学校改築事業	<p>【目的】 妻南小学校南校舎(3,627㎡)は、昭和39年に建築された建物であり、耐力度調査を行った結果、危険建物となったので、安全・安心の確保のため、改築工事を行う。</p> <p>【内容】 ・平成24年度に実施設計及び地質調査を行い、4か年の継続費として24年度～27年度に改築工事を行う。 ・改築工事については、文科省補助で行い、防音併行工事の設計及び工事は、防衛省補助で行う。</p> <p>24年度 実施施設設計委託料:18,327千円、事務費:200千円 25年度 工事費:425,423千円、委託料:1,777千円、事務費他:1,754千円 26年度 工事費:710,077千円、委託料:13,314千円、事務費他:6,242千円 27年度 工事費:303,450千円、委託料:8,376千円、事務費他:5,114千円</p> <p>【効果】 学校教育環境の充実及び児童の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 316,940千円</p>	<p>下記のとおり妻南小学校の学校施設改築を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託件数 9件 工事監理、樹木伐採、引越業務、産廃処理業務、工事設計意図伝達 ほか ・工事件数 28件 建築主体工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事、空調調和機器設備工事 ほか <p>2期工事(家庭科室、会議室等)、その他外構工事が完成</p> <p>【平成27年度決算額】 314,221千円</p> <p>【指標等の達成状況】 本年度、2期工事を実施し、妻南小改築事業が完了できた。その他の改築に伴う事務についても、予定どおり実施し、安全・安心な教育環境を確保することができた。</p>
(9) 中学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、生徒の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 84,907千円</p>	<p>下記のとおり中学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 4名 (うち2名は小学校兼務) ・委託件数 21件 警備、空調設備保守、環境整備、自家用電気工作物保安管理、消防施設等点検業務 ・工事件数 9件 都於郡中 1件 教室照明増設 三財中 3件 通路碎石舗装、トイレ修繕工事、照明器具改修 銀鏡中 1件 体育館バスケット装置撤去 ・備品購入件数 15件 生徒用机椅子、図書室テーブル、配膳台、体育館フロアシート ほか <p>【平成27年度決算額】 80,025千円</p> <p>【指標等の達成状況】 校舎等の修繕を127件実施するとともに、環境衛生調査で指摘のあった照度の改善等の工事を実施することで、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(10) 中学校教育振興事業	<p>【目的】 中学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること</p> <p>【効果】 授業の中で効果的に活用できる教材等を整備することで、各学校で定めた教育目標の達成や生徒の学校生活・授業が充実し、教育水準の維持・向上を図ることができる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 19,128千円</p>	<p>下記のとおり中学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 53件 教材備品、児童用図書、理科備品 ・遠距離通学補助交付生徒数 7名 第2条第2号該当 7名(6km以上) ・就学援助生徒数 90名 <p>【平成27年度決算額】 18,010千円</p> <p>【指標等の達成状況】 教材、図書及び備品の購入し、学校生活・授業の充実を図ることができた。また、補助及び扶助について適正な処理を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(11) 中学校耐震補強事業	<p>【目的】 生徒が安心して学べ、また、災害時には地域住民の避難場所としての役割もある学校施設の耐震化が遅れているため、可能な限り早期に耐震補強を行う。</p> <p>【内容】 校舎：穂北中、都於郡中の耐震補強工事及び外壁劣化補修工事</p> <p>【効果】 耐震性が確保された学校施設になることにより、生徒の大切な命を守り、保護者も安心して送り出すことができ、また、地域の避難場所としての役割を果たすことができる。</p> <p>【指標】 中学校の耐震化率 100.0%</p> <p>【平成27年度当初予算額】 41,116千円</p>	<p>妻中学校講堂天井改修及び中学校全ての屋内運動場照明改修ほか工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託件数 2件 ・工事件数 5件 <p>【実績】 中学校の耐震化率 100%</p> <p>【平成27年度決算額】 73,209千円</p> <p>【指標等の達成状況】 妻中学校講堂のつり天井を撤去改修し、校舎及び屋内運動場とも耐震化率100%を達成できた。また、耐震補強事業の一環として、防災機能強化による照明改修(LED化)及びバスケットゴールワイヤ補強を行い、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(12) 幼稚園奨励事業	<p>【目的】 所得に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を目的に、幼稚園の入園料及び保育料を軽減し、もって幼稚園教育の振興に資する。</p> <p>【内容】 文科省の補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園（市内公立幼稚園なし）に在園する満3歳以上の幼児の保護者で本市に居住する者に対して保育料等を減免する当該幼稚園設置者へ補助金を交付する。補助額は同一生計全員の市民税課税状況に応じ5段階に分けられ、各々年間の限度額が設定されている。なお、保護者に対する補助限度額（文科省通知）は年々微増傾向にある。また、平成18年度より少子化対策関連として、小学校低学年に兄弟がいる世帯についても第2子以降の優遇措置の対象とする条件緩和が追加された。 平成26年度より多子世帯の保護者負担の軽減により、補助額が増額され、一部所得制限をなくしたため補助対象世帯が拡大された。 平成27年度より、子ども・子育て支援新制度が実施され、新制度の「施設型給付」を受ける意向のある私立幼稚園が現在2園ある。新制度に移行する幼稚園は、幼稚園就園奨励賞の補助対象から外れるため、4園から2園へ減となる。</p> <p>【効果】 文科省により増設された「多子軽減」については、保護者の第2子以降の出産・子育て等に対する負担軽減措置として少子化対策の一助となることが期待できる。また、毎年文科省により通知される保護者への年間補助限度額を100%本市にも反映することで、保護者の経済的負担の軽減を図れることはもとより、転入してくる世帯にも幼稚園教育への振興に資する本市をアピールすることが期待できる。</p> <p>【指標】 本市年間補助限度額÷文科省通知年間補助限度額＝1.00</p> <p>【平成27年度当初予算額】 19,166千円</p>	<p>下記のとおり幼稚園教育の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付幼稚園数 2園 ・補助金交付園児数 82名 <p>【実績】 本市年間補助限度額÷文科省通知年間補助限度額＝1.00</p> <p>【平成27年度決算額】 11,876千円</p> <p>【指標等の達成状況】 対象園児82名に対する補助及び対象幼稚園2園に対する事務補助について適正な処理を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。指標については100%達成できた。</p>
(13) 教育振興事業	<p>【目的】 学校教育の内容の充実を図る事を目的とする。</p> <p>【内容】 学校教育の教育内容の充実を図るため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育指導支援に関すること ・就学指導に関すること ・教育文化に関すること ・教科用図書及び副読本に関すること ・教職員の研修に関すること <p>【効果】 学校教育の充実に寄与する。</p>	<p>市内小中学校の学校教育の充実を推進するため、以下の事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校への学校訪問を実施 12校 ・市指定研究校による授業公開及び研究発表 妻北小、妻南小、妻中、穂北中 ・全小中学校に学校評議員を委嘱 52名 ・市主催の教職員研修等を企画・実施 初任者研修、初赴任者研修、授業力brush-up研修等 ・就学指導を実施 就学前児童への観察・就学相談、教育支援委員会 ・教育支援センター「みつばルーム」及び「ほっとルーム」を運営 ・教育文化祭を開催 出品数948点 来場者数1,088名 ・副読本の増刷 小学3・4年生用副読本「わたしたちの西都市」 中学生用副読本「伊東マンショ」の増刷 ・各事業費補助 各教科等部会、生徒指導推進協議会、人権教育推進協議会等 <p>【平成27年度決算額】 13,616千円</p> <p>【指標等の達成状況】</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【平成27年度当初予算額】 13,722千円</p>	<p>学校訪問、指定研究校の研究公開等で、適切な指導助言等を行うとともに、市主催の職員研修や各事業に補助金を交付し支援を行うこととおして、教職員の指導力向上を図ることができた。また、幼稚園、保育所等関係機関と連携し、教育相談、園児の観察を行い、教育支援委員会を開催し適切な就学指導を行うことで、保護者に対し就学に対する支援を行うことができた。教育支援センターの運営、副読本の増刷等、その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(14) 学校生活介助員事業	<p>【目的】 学校生活介助員を派遣することで、小中学校に在学する障がい等がある児童生徒が、支障なく安全に学校生活を送ることができることを目的とする。</p> <p>【内容】 介助が無くては学校生活において支障があると認められる児童生徒に対し、学校内における身辺処理、移動、校外活動等の介助を行うための学校生活介助員の派遣を行う。</p> <p>【効果】 介助を行うことで、介助を必要とする児童生徒の安全な学校生活が確保できるとともに、学校及び教員の負担の軽減ができる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 26,574千円</p>	<p>下記のとおり学校生活介助員の派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣小学校数 4校 対象児童数 26名 派遣介助員数 18名 ・派遣中学校数 1校 対象生徒数 1名 派遣介助員数 1名 <p>【平成27年度決算額】 22,809千円</p> <p>【指標等の達成状況】 児童生徒に対する介助の申請に対し、教育支援委員会及び学校での状況観察及び保護者の意見等を取り入れ、適正な学校生活介助員の派遣を行った。また、学校、委託先との連携により、要望に沿った介助を行うことで、児童生徒が安全に学校生活を送ることができ、学校及び教職員の負担軽減を図ることができた。</p>
(15) 総合的な学習の時間等の学社連携・融合支援事業	<p>【目的】 地域の人々との交流や地域の文化や自然に触れる体験活動、児童生徒の自主的な活動を通じて、児童生徒の郷土愛を深めるとともに、自発性や探求心を育てる各学校の取組を充実させることを目的とする。</p> <p>【内容】 総合的な学習の時間及び生活科等の時間に地域の方々を講師に招くなどして、地域との連携や交流を取り入れた学習活動を支えるための報償費や一般消耗品費を予算化し、各学校を支援する。</p> <p>【効果】 児童生徒の探求心が育つとともに、地域の方を敬う気持ちや地域の自然や文化を守っていこうとする心情と態度を育成できる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 1,444千円</p>	<p>総合的な学習の時間の学習活動を支援するために、下記のとおり講師を招聘した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 50名 ・中学校 23名 <p>【平成27年度決算額】 1,184千円</p> <p>【指標等の達成状況】 各小・中学校の特色に応じた講師を招聘し、地域の方々との交流を通して、地域の伝統文化や農業等を体験することにより、地域の方を敬う気持ちや郷土愛を育む取組を実践した。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(16) 教育研究センター運営事業	<p>【目的】 西都市独自の教育研究機関を設置し、教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育関係職員の研修を行うことを目的とする。</p> <p>【内容】 西都市の教育的課題を解決するために以下についての調査研究を行う。 (1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究に関すること</p>	<p>西都市教育研究センターにおいて、下記のとおり調査研究を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究員を委嘱 主任研究員 1名 研究員 14名 ・研究班 「さいと学研究小学校班」「さいと学研究中学校班」の2班編成 ・実施回数 毎月2回程度 ・市内教職員へアンケート調査

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>(2) 教育関係職員の研修に関する事 (3) 研究結果の普及に関する事 市内の各小中学校から15名の研究員を委嘱し、毎月研究会を開催し、市内全小中学校の教諭等が参加する研究発表会を年度末に開催する。 また、その研究成果は県の研究機関の発表会でも発表を行う。</p> <p>【効果】 市の教育課題等について、15名の小中学校教諭等によって調査研究を行い、各校での取組の参考となる研究成果を発表することができている。 特に現在西都市独自で取り組んでいる一貫教育に関わる事業等の準備・計画などにこの研究成果を活用することができている。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 1,013千円</p>	<p>・研究テーマ キャリア教育の視点を踏まえた「さいと学」の創造 ・キャリア教育の視点を踏まえた授業の実践 ・市教育研究センターの研究発表報告会 ・県教育研究機関研究発表大会</p> <p>【平成27年度決算額】 922千円</p> <p>【指標等の達成状況】 アンケート調査による実態を把握、「さいと学」「総合的な学習の時間」「キャリア教育」のねらいや指導過程の関連の整理、分析、調査研究を行った。探究的な学習になるような課題設定、単元計画の組換え、改善を図ったモデルを示し、キャリア教育の視点を踏まえた授業を実践、市の研究会及び県研究機関研究機関研究発表大会にて研究成果の発表をとおして、各学校に研究成果を還元することができた。</p>
(17) 小中高一貫教育推進事業	<p>【目的】 平成20年度から開始している小中高一貫教育であり、小中高12年間の継続的計画的な指導により、西都の子どもたちの郷土愛の育成や学力向上を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 小中高12年間を通じた教育活動を基盤に、西都市のことや生き方について学習する「さいと学」、小学校1年生から始める英語教育の「小学校英語活動」「小学校英会話科」「中学校英語表現科」、市内中学校等における外国語指導助手(ALT)配置、さらに教師の相互乗り入れや児童生徒の交流活動等を行う。</p> <p>【効果】 学校種間の接続・移行を円滑に行い、地域に自信と誇りを持ち、地域に貢献する人材の育成と確かな学力の定着が期待される。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 30,285千円</p>	<p>連携型一貫教育を推進するため、以下の事業に取り組んだ。 ・外国語指導助手(ALT)4名を雇用し、全小・中学校へ配置 ・宮崎国際大学との連携協定のもと、小学校6年生全員を対象とした小学生英語村体験研修を実施 ・読書活動推進員を配置 10名 ・英語検定の検定料補助 小学校6年生 285名 正答率 88.7% 中学校1年生 293名 合格率 72.0% ・漢字検定の検定料補助 小学校5年生 288名 合格率 71.7% 中学校2年生 H27は対象外 ・聖陵セミナーへの支援 中学校3年生 137名</p> <p>【平成27年度決算額】 27,885千円</p> <p>【指標等の達成状況】 外国語指導助手(ALT)4名を配置し、小学校1年生から中学校3年生までを対象としたきめ細かな英語教育を行うとともに、宮崎国際大学との連携協定のもと小学校6年生を対象とした英語村体験研修を行うことで、国際理解と英語への興味関心を高めることができた。また、「さいと学」の実施、「聖陵セミナー」などの地元高等学校による授業等を実施し、小中高連携による取組を行うことができた。</p>
(18) 学校保健管理費	<p>【目的】 小中学校における児童生徒及び教職員の健康や保健衛生の保持・増進及び学校体育による児童生徒の体力向上の増進や健全育成を目的とする。</p> <p>【内容】</p>	<p>小中学校の保健衛生等の保持・増進を推進するために、以下の事業を行った。 ・各学校に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱 学校医 内科医11名 眼科医2名 耳鼻咽喉科医2名 学校歯科医 9名</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する保健指導等を行うため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校嘱託医、学校薬剤師に関すること ・児童生徒及び教職員の健康診断等に関すること ・就学時健診に関すること ・災害共済給付金に関すること ・準要保護児童生徒に係る医療扶助に関すること ・その他学校の保健衛生に関すること <p>学校体育の推進のため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育連盟の行う事業に対する補助等に関すること ・中学校体育連盟の行う事業に対する補助等に関すること <p>【効果】 学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全・安心の確保及び体力向上の増進や健全育成が図られる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 21,890千円</p>	<p>学校薬剤師 4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医等による児童生徒の健康診断を実施 2,531名 ・就学時健康診断の実施 対象者266名 ・教職員の健康診断を実施 187名 ・日本スポーツ振興センターの災害共済保険制度に加入 保険給付実績 小学校 165件 407,112円 中学校 223件 1,978,588円 ・準要保護児童生徒の歯科治療に係る医療扶助 小学校 12件 19,588円 中学校 6件 29,390円 ・学校保健大会を開催 参加者 371名 <p>学校体育による体力向上や健全育成のために、以下に対する補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西都市学校体育事業費補助金 水泳大会、陸上記録会、子ども白太鼓踊り用ひもろぎの修繕費用等 ・宮崎県中学校総合体育大会等派遣費補助金 中学校体育連盟主催の県大会（地区総合、県総合、地区秋季、県秋季：対象者1,334名）出場に伴う費用 ・西都地区中学校九州大会等派遣費補助金 九州大会（6種目、36名）、全国大会（2種目、5名）出場に伴う費用 <p>【平成27年度決算額】 19,813千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校医及び学校歯科医と連携した、児童生徒の健康診断、就学時健康診断を実施、教職員を対象とした健康診断を実施することで健康の保持・増進を図ることができた。学校薬剤師と連携し、保健衛生に関する相談、指導を行うことにより、教育環境の改善を図ることができた。また、準要保護児童生徒への医療扶助、小体連、中体連への補助に対し適正な処理を行うことで、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	
<p>(19) 小学校保健管理事業</p>	<p>【目的】 小学校における学校保健及び学校安全の充実を目的とする。</p> <p>【内容】 小学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校保健室備品及び消耗品購入 ・児童の各種検査（寄生虫、尿、脊柱側弯） ・学校環境衛生指導（飲料水、プール水、ダニ検査等） <p>【効果】 小学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童の安全・安心の確保が図られる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 3,248千円</p>	<p>小学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生調査を実施 水質検査、空気検査、ダニ検査等 ・児童の各種検査を実施 尿検査 1,658名 寄生虫検査 829名 脊柱側弯症検査 290名 ・保健室の消耗品、医薬品及び備品を購入 <p>【平成27年度決算額】 2,975千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校医との連携及び検査委託により、児童の各種健康診断を実施することで健康の保持・増進を図ることができた。また、学校薬剤師と連携し、水質検査など環境衛生調査・指導を行うことにより、学校管理との連携による照度不足の改善など教育環境の改善を図ることができた。その他の事務については、概ね</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(20) 中学校保健管理事業	<p>【目的】 中学校における学校保健及び学校安全の充実を目的とする。</p> <p>【内容】 中学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。 ・中学校保健室備品及び消耗品購入 ・生徒の各種検査（尿、脊柱側弯、貧血） ・学校環境衛生指導（飲料水、プール水、ダニ検査等）</p> <p>【効果】 中学校における教育活動が安全な環境において実施され、生徒の安全・安心の確保が図られる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 2,317千円</p>	<p>予定どおり実施できた。</p> <p>中学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。 ・環境衛生調査を実施 水質検査、空気検査、ダニ検査等 ・生徒の各種検査を実施 尿検査 864名 貧血検査 584名 脊柱側弯症検査 283名 ・保健室の消耗品、医薬品及び備品を購入</p> <p>【平成27年度決算額】 2,073千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校医との連携及び検査委託により、児童の各種健康診断を実施することで健康の保持・増進を図ることができた。また、学校薬剤師と連携し、水質検査など環境衛生調査・指導を行うことにより、学校管理との連携による照度不足の改善など教育環境の改善を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(21) 給食センター管理費	<p>【目的】 「学校給食衛生管理基準」に基づいた、安全でおいしい学校給食を欠かさず提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 西都市内の小中学校の児童生徒への学校給食提供に必要な管理運営を行う。 銀鏡地区を除く小中学校には、共同調理場方式で給食センターから提供している。銀鏡地区については、銀鏡中の調理場で調理を行い、単独校調理方式で銀上小学校にも提供している。</p> <p>【効果】 安全でおいしい学校給食の提供を行うとともに、児童生徒の心身の健全な発達と食に関する正しい理解と適切は判断力の養成が図られる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 1,222,631千円</p>	<p>・各学校の要望に応じ、調理業務委託業者や配送業務委託業者等との調整を図り、効果的かつ効率的な運用に務め、給食提供計画数である小学校195日、中学校190日においては、計画どおりの提供ができた。</p> <p>平成27年度実績では、小学校339,582食、中学校172,646食、合計512,228食であった。</p> <p>また、「西都の日」と称し毎月1回、地元農産物を使用した学校給食の提供を実施した。併せて、学校での食育の推進に寄与できる資料となるよう、使用食材の紹介や生産者の声を記載した食育だよりを作成し、毎月の配布を実施した。</p> <p>さらに、各中学校に献立のリクエスト行い、希望の献立を作成し年6回の提供を行った。</p> <p>・食物アレルギー児童・生徒への対応については、アレルギー調査を基に保護者との面談を実施し、可能な限り個々の症状に応じた提供を実施した。平成27年度の実績では児童9名、生徒12名に除去食・代替食での対応を行い年間を通じ事故等も無く安全な提供ができた。</p> <p>・東米良地区では、単独校調理方式により銀鏡中学校調理場で平地校と同一の献立を基に山間部ならではの献立取り入れるなど安定した給食の提供ができた。</p> <p>平成27年度実績では、小学校1,755食、中学校3,120食、合計4,875食であった。</p> <p>【平成27年度決算額】 1,122,885千円</p> <p>【指標等の達成状況】 給食センター及び銀鏡中学校調理場での安定した安全な給食の提供が実施できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(22) 給食センター整備事業	<p>【目的】 給食センター等学校給食施設における安全衛生上の維持整備を行うことと、安全でおいしい学校給食を欠かさず提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 建設後30年を経過し老朽化してきた給食センターの施設整備等を計画的に行うとともに銀鏡中学校調理場施設の維持整備を行う。</p> <p>【効果】 安全でおいしい学校給食を安定的に提供できる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 3,385千円</p>	<p>計画に基づき、衛生管理の強化を図るため以下の施設改善を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センター床（洗浄室）修繕 ・銀鏡中学校調理場空調（エアコン）設置 <p>【平成27年度決算額】 3,385千円</p> <p>【指標等の達成状況】 衛生管理の徹底を行うための修繕を実施した。また、調理過程における食中毒の予防を実施するため銀鏡中学校調理場にエアコンの設置を行った。また、給食センターにおいては、アレルギーへ対応給食の提供における事故防止を図るため既存施設の一部にアレルギー対応室を設置した。</p>

5

中項目 2 生涯学習の推進

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
<p>(1) 社会教育総務費</p>	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育の総合的な推進を図るため、市民の生涯学習相談及び指導、各種ボランティア団体及び社会教育関係団体の指導・養成等を強化する。 2. 豊かな人間性を養い、連帯意識や協調性に富んだ社会教育関係団体の育成充実に努める。 3. 年齢や生活体験の異なる子どもたちが集団のなかで役割と責任を認識し、自然体験や文化活動等、学校教育や家庭教育では得ることのできないものを提供する。 4. 青少年の問題行動や非行を未然に防ぐとともに健全育成を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関、関係団体等と連携を図りながら、地域ぐるみの青少年健全育成を目的とする。 5. 社会人としての自覚や責任、誇りを持たせ、西都市という故郷に想いはせ、今までお世話になった方に感謝しつつ、社会参加を促進する。 6. 家庭教育はそれぞれの家庭の責任と判断に基づいて行うことが基本ではあるが、家庭教育に自信が持てなくなった親も見受けられることから家庭での教育について学ぶことのできる場の提供を行う。 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館に3名の社会教育指導員を配置し、(一人2地区担当) 目的達成のため具体的な活動を行う。 2. 社会教育関係団体に対しての活動助成及び助言を行う。 3. 青少年健全育成事業として、ジュニアリーダー教室・子ども会リーダー研修・市指定子ども会公開・子ども会インリーダー教室を行う。 4. 青少年の指導相談・関係機関との連携・巡回指導報告のまとめ・例年開催する青少年健全育成市民大会に代わり、九州地区少年補導センター等連絡協議会「宮崎研究大会」を開催する。青少年育成センターに青少年指導員をおき、指導及び相談にあたる。また、青少年指導委員(20名)を総括する。 5. 成人式典を開催する。 6. 家庭における子どもの教育について、必要な知識を一定期間で、計画的・継続的に学習する機会を提供する。 <p>【効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会環境の変化に対応し、心身ともに健康で潤いのある市民生活を醸成していく。また、積極的な学習意欲を持たせ地域活動を行う。 2. 社会教育事業の推進母体とし様々な社会教育活動を行っている。 3. 学校や家庭では体験することのできない自然のなかでの遊びや子ども会活動を通じて、自主性をもった行動や、協調性が培われ子どもの成長に大きく寄与し、また、子どもの育成に関し、地域と一体となった育成が推進できる。 4. 青少年の非行防止と健全育成に効果がある。 5. 成人式に参加して、郷土愛を育み、家族等のつながりを感じ取ってもらう。式典に参加し責任ある社会人を自覚する。 6. 同年代の子供を持つ親同士が、日常の出来事をはじめ、子ども達の様子 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育指導員 <ul style="list-style-type: none"> ・地区高齢者教室、地区家庭教育学級、各地区自公連への指導・助言、生涯学習の相談・指導 2. 社会教育関係団体活動補助 <ul style="list-style-type: none"> ・西都市子ども会育成連絡協議会 ・西都市PTA協議会 ・西都市地域婦人連絡協議会 ・西都はにわ生活学校 ・日本ボーイスカウト西都第1団 3. 青少年教育 <ul style="list-style-type: none"> ・インリーダー教室 (1月～3月) ・子ども会リーダー研修 (8月7日～8月9日) ・ジュニアリーダー教室 (5月～3月) ・県ジュニアリーダー研修会 (8月8日～9日) ・九州地区子ども会ジュニアリーダー研修会宮崎大会 (8月21日～23日) ・指定子ども会公開 12子ども会 4. 青少年 <ul style="list-style-type: none"> ・九州地区少年補導センター等連絡協議会「宮崎研究大会」(7月11日～12日) ・西都市青少年育成連絡会(11月18日) ・青少年指導委員による地域巡回指導 5. 成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・新成人による成人式 (1月5日) 6. 家庭教育 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児家庭教育学級 1学級 ・小中学校家庭教育学級 9学級 	<p>4</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>を語り合うことから、子どもを多角的な視野で観ることができ、子どもへの理解が深まり、いろいろな疑問や問題等への解決の糸口を得ることで、子育てにゆとりを得ることができる。</p> <p>【指標】 活動助成団体数 6 団体 青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 100 人 九州地区少年補導センター等連絡協議会「宮崎研究大会」350 人 式典の新成人参加率 90 % 家庭教育学級数 12 団体</p> <p>【平成27年度当初予算額】 11,587 千円</p>	<p>【実績】 活動助成団体数 5 団体 青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 37 人 九州地区少年補導センター等連絡協議会「宮崎研究大会」552 人 式典の新成人参加率 79 % 家庭教育学級数 12 団体 (10 学級開級)</p> <p>【平成27年度決算額】 10,421 千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている各項目全体の達成度は、約90%であった。</p>
(2) 公民館活動事業	<p>【目的】 社会教育法第20条(公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする)により、実施している。</p> <p>【内容】 ◎市公民館・各地区館講座の開催 パソコン講座、水彩画講座など約37の講座を開催。 ◎高齢者教室(6地区)の開催 地域における高齢者相互の意志疎通を図るとともに、健康で生きがいのある人生を過ごせるよう、受講生の学習要求に応じたプログラムで実施するもの。市内在住の65歳以上の男女が対象。 ◎このはな学園の開催 69歳以下の市民を対象に、学ぶ喜び、集う楽しさを知ってもらい、生き生きと様々なことを学習できる場として、このはな学園を開催。</p> <p>【効果】 多くの市民に学習の機会を提供できる。</p> <p>【指標】 市公民館・地区館講座受講者数 1,000 人 【平成27年度当初予算額】 4,403 千円</p>	<p>1. 市公民館・地区館講座の開設 ①市公民館講座数 パソコン講座等15講座(380名参加) ②地区館講座数 パソコン講座等22講座(325名参加)</p> <p>2. 高齢者教室の開設 教室数 6 教室 総計127名参加 妻地区43名 穂北地区14名 三納地区15名 都於郡地区16名 三財地区25名 東米良地区14名</p> <p>3. このはな学園の開設 19名参加</p> <p>【実績】 市公民館・地区館講座受講者数 705 人 【平成27年度決算額】 4,395 千円</p> <p>【指標等の達成状況】 市公民館・地区館の各種講座については、生涯学習情報誌「はじめませんか生涯学習」を作成、全戸配布し情報発信に努めたが、指標としている、市公民館・地区館講座受講者数の達成度は、約70%であった。</p>
(3) 公民館維持管理事業	<p>【目的】 市公民館・各地区館・各学習等供用施設の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 ◎市公民館の維持管理業務 ◎各地区館の維持管理業務 ◎各学習等供用施設(条例の64館中、社会教育課所管63館について)と銀鏡集会所の維持管理業務</p>	<p>管理施設 ①市公民館 ②穂北地区館・三納地区館・都於郡地区館・三財地区館・東米良地区館 ③学習等供用施設 63 館、銀鏡集会所</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>【効果】 使用に支障をきたさないような維持管理が可能となる。</p> <p>【指標】 修繕料 3,413千円 【平成27年度当初予算額】 12,561千円</p>	<p>【実績】 修繕料 1,336千円 【平成27年度決算額】 14,929千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標の修繕料は当初予算であり、年度中に修繕箇所が減少したことから、実績は減額となっている。なお、修繕については予定どおり実施できた。</p>	
(4) 自治公民館活動助成事業	<p>【目的】 地域住民にとって、もっとも身近な存在として、また、生涯学習の活動の母体として重要である自治公民館組織に対して、その活動の支援及び施設維持のための補助金を交付する。</p> <p>【内容】 ◎各自治公民館活動への支援 ◎西都市自治公民館連絡協議会への支援 ◎自治公民館建設補助金制度の実施 ◎西都市特定騒音区域内自治公民館施設空調機器設置補助金</p> <p>【効果】 各自治公民館の活動支援と同時に組織として、各地区自治公民館連絡協議会、その上部団体の西都市自治公民館連絡協議会の育成を行うことにより、地域力の向上が図られる。</p> <p>【指標】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数 133館 【平成27年度当初予算額】 7,766千円</p>	<p>◎各自治公民館活動への支援 (活動報償金1館につき30,000円) ◎西都市自治公民館連絡協議会への支援 (市補助金360,000円) ◎自治公民館建設補助金制度の実施 (下沖自治公民館トイレ改築工事補助 928,000円) (諏訪下自治公民館屋根復旧工事補助 266,000円) ◎西都市特定騒音区域内自治公民館施設空調機器設置補助金 (土中西自治公民館空調設備設置補助 246,000円)</p> <p>【実績】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数 133館 【平成27年度決算額】 9,334千円</p> <p>【指標等の達成状況】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数は達成できた。</p>	5
(5) 図書館管理事業	<p>【目的】 生涯学習の中核施設としてさらなる住民サービスを提供していくため施設の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 ○情報化社会や市民ニーズに対応した図書館の整備充実及び施設の維持管理 ○戸外用テーブル・パラソルの設置で、滞在型の図書館を目指す。</p> <p>【効果】 戸外ではあるが、飲食が可能になり、利用者へのサービスの充実が図れる。ひいては来館者の増加や貸出冊数の増加などの効果が期待できる。</p> <p>【指標】 貸出冊数 96,000冊 【平成27年度当初予算額】 15,141千円</p>	<p>夏休み期間中、日曜日及び月曜日の開館時間の拡大及び研修室の開放を行い、学生支援や図書館サービスの充実を図り、前年度に比べ入館者が増えた。 休館日(月曜)開館による利用人数:360人 ホームページやフェイスブックで情報の発信することで、利用者へのサービスを図り、さらに戸外用のテーブルとパラソルの設置で戸外での飲食が可能になり、利用者を見かけるようになった。</p> <p>【実績】 貸出冊数 97,229冊 【平成27年度決算額】 14,198千円</p> <p>【指標等の達成状況】 貸出冊数は、達成できた。</p>	5
(6) 図書貸出事業	<p>【目的】 市民の教育と文化の発展に寄与するため、文献や資料の収集・整理・保</p>	<p>図書の充実 (平成28年3月31日現在)</p>	

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>存に努め、閲覧の場所を提供するとともに、市民の様々な学習活動を支援する。</p> <p>【内容】 ○図書館資料の収集・整理・保存・提供 ○貸出文庫</p> <p>【効果】 図書館資料の充実を図ることで利用者の多様なニーズに応えることが可能となり、調べ学習など生涯学習の拠点となりうる。</p> <p>【指標】 購入冊数（視聴覚資料含む） 3,500冊 【平成27年度当初予算額】 5,242千円</p>	<p>蔵書数 73,550冊 一般図書数 48,411冊 児童図書数 25,139冊</p> <p>【実績】 購入冊数（視聴覚資料含む） 3,033冊 【平成27年度決算額】 5,232千円</p> <p>【指標等の達成状況】 購入冊数は、大型絵本、視聴覚資料など高額資料の充実を図ったことから、達成率は、約90%であった。なお、県立図書館および県内図書館からの相互貸借により、利用者へのサービスを図った。</p>	4
(7) 読書推進事業	<p>【目的】 本に親しめる環境づくりを図り、市民の読書意欲増進をめざす。</p> <p>【内容】 ○西都市小学生読書感想文コンクールの実施 ○図書館まっりの開催 ○読み聞かせ講演会 ○ブックスタート・ブックフォロー</p> <p>【効果】 各種事業を行うことで、市民が図書館や本に親しみをもちことになり、ひいては読書人口の増加につながる。 また、読み聞かせ講演会を実施することで、読み聞かせを行うグループや個人を支援でき、市内各所で読み聞かせ活動がひろがり、読書推進に効果が期待できる。</p> <p>【指標】 西都市小学生読書感想文コンクール 上限80作品 【平成27年度当初予算額】 760千円</p>	<p>読書人口の拡大のために行った企画 (1) 図書のテーマごと展示 (2) 読書感想文コンクールの開催 (3) 貸出文庫 (4) ブックスタート事業 (6ヶ月検診時に図書館の紹介と布バック・絵本を配布) ブックフォロー事業 (3歳児検診時に図書館の紹介と絵本を配布) (5) むいぐるみのお泊り会 (ぬいぐるみが図書館に泊まり持ち主の子どものために絵本を選び、貸し出しをする) (6) 絵本の読み聞かせ (7) 子ども読書の日イベントの開催 (8) 図書館まっりの開催 (9) 読み聞かせ講演会の開催 (10) ハロウィンイベント (11) 小学生1日図書館員</p> <p>【実績】 西都市小学生読書感想文コンクール応募作品数 63作品 【平成27年度決算額】 733千円</p> <p>【指標等の達成状況】 小学生読書感想文コンクールの応募作品数の達成度は、約80%であった。</p>	4
(8) 生涯学習推進事業	<p>【目的】 生涯学習の推進を行う。</p> <p>【内容】 ◎生涯学習フェスティバルの開催 ◎市生涯学習さわやか出前講座の開催</p>	<p>◎生涯学習フェスティバルの開催 (3月1日から6日に開催。延べ参加者数 約1,500人) ◎市生涯学習さわやか出前講座の開催 (14講座 総参加者数337人)</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>【効果】 生涯学習への参加人数の増が図られる。</p> <p>【指標】 生涯学習講座への参加者数 2, 200人</p> <p>【平成27年度当初予算額】 2, 531千円</p>	<p>【実績】 生涯学習講座への参加者数 2, 504人</p> <p>【平成27年度決算額】 2, 155千円</p> <p>【指標等の達成状況】 市のお知らせやフェイスブック等を活用し、生涯学習フェスティバルや出前講座の情報発信を行い、生涯学習講座等への参加者数は指標に達した。</p>	
(9) 青少年研修施設管理運営事業	<p>【目的】 宿泊体験を通じて、子ども達の自主性、協調性、忍耐力を養う場として青少年研修施設「まがたま館」の管理運営を行う。</p> <p>【内容】 勤労青少年、児童生徒及び指導者に研修の場を提供する。</p> <p>【効果】 施設利用を通じて、市内のスポーツ施設利用増や青少年の自主性、協調性、忍耐力を養い健全育成に寄与する。</p> <p>【指標】 宿泊者数 360人</p> <p>【平成27年度当初予算額】 4, 693千円</p>	<p>スポーツ少年団、中学校、高校及び専門学校のスポーツ部活動による青少年研修施設「まがたま館」の利用</p> <p>【実績】 宿泊者数 258人</p> <p>【平成27年度決算額】 3, 708千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている宿泊者数の達成度は、約70%であった。</p>	

3

中項目 3 市民文化の継承と創造

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(1) 文化財保存活用事業	<p>【目的】 文化財の監視や委員会等、文化財の保存と活用に関連した事業を行う。</p> <p>【内容】 ○市内に所在する文化財の監視（年2回）や査察（文化財防火デー）、文化財保存調査委員会（年2回）により貴重な文化財の指定を行う等保存と活用を図る。 ○諸開発に伴う緊急発掘調査を行い、事業の調整に資する。</p> <p>【効果】 文化財の監視や査察、指定を行うことにより、歴史上価値の高い史跡等を次の世代に保存しようとするができる。また、県や保存会等関係団体と連携しながら世界文化遺産（西都原古墳）や、ユネスコ無形文化遺産（銀鏡神楽）の登録を目指して、情報発信や啓発活動を行い、文化財の活用を図っている。</p> <p>【指標】指定数 1件（2年で2件） 【平成27年度当初予算額】 2,519千円</p>	<p>○文化財監視 史跡等の監視 8月、2月 文化財査察 2月12日 1回 文化財保存調査委員会 7月、3月の2回実施</p> <p>○緊急発掘調査 「周知の埋蔵文化財包蔵値」において土木工事等を実施しようする場合における緊急発掘調査（外原遺跡）</p> <p>【実績】指定数 0件 【平成27年度決算額】 2,819千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている指定数は、実質的に平成26年度に2件の市指定を行っており、平成27年度分までの指標は既に、達成済みである。</p>
(2) 日向国府跡保存整備事業	<p>【目的】 日向国府跡保存管理計画に基づき、発掘調査（確認調査）を行い、保存整備を進める。</p> <p>【内容】 日向国府跡指定地内について、遺構の特定及び保存整備データ蓄積のための発掘調査（確認調査）を年次的に行う。本年度は、東辺塀の位置や南辺塀南側の遺構の発掘調査を実施する。</p> <p>【効果】 日向国府跡については、西都原古墳群及び周辺整備構想においても日向国分寺跡・都於郡城跡同様観光の目玉として位置づけられており、日向国府の保存と活用が図られれば、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 5,082千円</p>	<p>・発掘調査（確認調査） 調査期間 平成27年4月～平成28年3月 調査面積 576㎡ 調査経費 4,000千円 調査概要 調査の結果、国府以前の大型の建物とその南門の位置と構造が明らかになった。それに重複して、国府の南門外側にも建物が存在することが明らかになった。</p> <p>【平成27年度決算額】 4,769千円</p> <p>【指標等の達成状況】 本年度は、東辺塀の位置や南辺塀南側の遺構の発掘調査の実施で、概ね達成できた。</p>
(3) 文化財整備運用事業	<p>【目的】 未指定文化財の調査など、文化財の整備運用に関連した事業を実施する。また、埋蔵文化財管理作業所を運営する。</p> <p>【内容】 ○未指定文化財を指定するための専門的な調査を依頼する。 ○埋蔵文化財管理作業所の運営を行う。 ○松本原遺跡の整理事業 ○県指定古墳の名称変更に伴う、標柱及び説明看板設置委託を行う。</p>	<p>○未指定文化財の市指定に向けた調査</p> <p>・伊東塔について市指定に向けた調査実施（平成28年3月文化財保存調査委員会にて市指定の建議することを決定）</p> <p>○埋蔵文化財管理作業所 電気、ガス、水道、コピー・プロッターリース等</p> <p>○松本原遺跡の整理事業 ・松本原遺跡発掘調査報告書を作成。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【効果】 未指定文化財の市指定を行い、保全意識を高め、保存と活用が図れる。 【平成27年度当初予算額】 6,653千円</p>	<p>○県指定古墳の名称変更に伴う、標柱及び説明看板設置委託の実施 【平成27年度決算額】 6,034千円 【指標等の達成状況】 未指定文化財の調査や埋蔵文化財管理作業所の運営、発掘調査報告書の作成については、概ね達成できた。</p>
(4) 文化財維持管理事業	<p>【目的】 市内に所在する史跡をはじめ、文化財関係施設の維持管理を図る。 【内容】 国有古墳など日向国分寺跡・日向国府跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群等の史跡、木喰五智館・有楽椿の里・都於郡城跡のトイレ等文化財関連施設の維持管理を委託して行う。 【効果】 史跡等の文化財及び関連施設の維持管理を行うことにより、活用が図れる。 【平成27年度当初予算額】 10,632千円</p>	<p>・史跡の管理 国有古墳・日向国分寺跡・日向国府跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群・穂北城跡等史跡 11件 ・文化財関連施設の管理 木喰五智館・有楽椿の里・都於郡城跡等のトイレ等 5件 【平成27年度決算額】 10,354千円 【指標等の達成状況】 史跡の管理、文化財関連施設の管理については、機械警備やシルバー人材センター等に委託しており、概ね達成できた。</p>
(5) 都於郡城跡法面保存整備事業	<p>【目的】 自然災害等により法面の崩落及び亀裂が生じていることから、年次的に保護策を行う。また、これまで実施した発掘調査の成果を基に報告書を25・26年度の2カ年でまとめる。 【内容】 ○二ノ丸跡の北側法面について、ジオファイバー工法により保護工事を行う。 ○発掘調査は、昨年度に継続して三ノ丸跡を行い、遺構・遺物等の遺存状況を把握する。 【効果】 法面の保護により都於郡城跡の安定が図られ、発掘調査の成果を基に保存整備が行われることにより、観光の目玉として、西都市の活性化に繋がる。 【平成27年度当初予算額】 25,196千円</p>	<p>○法面測量設計業務委託 委託期間 平成27年8月～9月 委託金額 648千円 ○法面保護工事 工事期間 平成27年11月～平成28年2月 請負金額 18,080千円 【平成27年度決算額】 18,779千円 【指標等の達成状況】 法面保護工事の実施について、年度内に工事が完了し、本年度分は概ね達成できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(6) 市内遺跡発掘調査事業	<p>【目的】 事業課で予定されている諸開発事業に伴う発掘調査については、嘱託員を採用して実施する。また、市内各地から発掘調査等で出土した貴重な鉄器類の腐食が著しいことから、保存処理を行い、永久保存をして、活用を図る。さらに、市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等を行う。</p> <p>【内容】 ○事業課において道路改良事業が予定されており、その事業に伴う発掘調査は嘱託員（埋蔵文化財専門員）を採用して対応する。 ○鉄器類について、専門の業者に委託して防錆・恒久化等の保存処理を行う。本年度は、千畑横穴墓群、西都原地下式横穴墓群から出土した鉄器類の保存処理を実施する。 ○遺物の整理を行い、報告書作成の補助的な作業を行う。</p> <p>【効果】 発掘調査については、調査の専門員を補充することによって、事業が円滑に進み、作業の効率化が図れる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 4,529千円</p>	<p>○嘱託員（埋蔵文化財専門員）1名 発掘調査補助、図面作成</p> <p>○保存処理委託 委託物件 千畑横穴墓群、西都原地下式横穴墓群出土 馬具・刀装具・耳環9点 委託期間 平成27年4月～平成28年3月 委託料 667千円</p> <p>○整理作業員 1名 平成27年4月～平成28年3月 市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等</p> <p>【平成27年度決算額】 4,380千円</p> <p>【指標等の達成状況】 諸開発事業に伴う発掘調査や出土品の保存処理委託は、概ね達成できた。</p>	5
(7) 日向国分寺跡保存整備事業	<p>【目的】 平成23年9月21日付で国史跡として指定を受けており、平成24年度から国庫補助事業（買上げ事業）を導入して公有化を図り、保存管理計画を作成し、日向国分寺跡の保存と活用を行う。</p> <p>【内容】 ○国指定地を平成24年度から年次的に公有化を図る。 ○保存管理計画を平成25年度から26年度にかけて作成する。</p> <p>【効果】 公有化することにより、日向国分寺跡の保存が図られ、整備することにより、観光の目玉として、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 80,275千円</p>	<p>○買上げの実施 土地鑑定 平成27年4月～5月 鑑定委託費 152千円 物件調査 平成27年4月～7月 物件調査委託料 2,484千円 買上げ面積 1,321.95㎡ 買上げ費用（補償費含む）76,184千円 事業費総額 78,900千円</p> <p>【平成27年度決算額】 79,164千円</p> <p>【指標等の達成状況】 買上げ事業は、年度内に完全に遂行でき、概ね達成できた。</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(8) 伊東満所 (マンショ) 顕彰事業	<p>【目的】 郷土の偉人、伊東満所 (マンショ) の顕彰事業を行い、伊東満所 (マンショ) の功績を称えていく。</p> <p>【内容】 郷土の偉人、伊東満所 (マンショ) に対する理解と認識を深めるため、伊東満所 (マンショ) 関係講座や県内ゆかりの地を巡るツアーなど、イベント等の事業を実施する。</p> <p>【効果】 事業を通じて、郷土の偉人「伊東満所 (マンショ)」の歴史的価値を再認識することができる。また、伊東満所 (マンショ) の生まれた都於郡城 (国史跡) と併せて、地域の活性化が見込める。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 253千円</p>	<p>郷土の偉人、伊東満所 (マンショ) を顕彰するためのイベント等を実施した。</p> <p>○イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊東満所 (マンショ) 関係講座 4回実施 (延べ参加者127名) ・県内ゆかりの地を巡るツアー 平成28年2月 参加者 43名 (宮崎市円南寺・飢肥城・国富 法華嶽薬師寺) <p>○イタリアで発見された伊東満所 (マンショ) 肖像画の所有者を訪問し、顕彰事業の今後の展開と文化交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊東満所 (マンショ) 肖像画所有者訪問 (イタリア ミラノ) <p>【平成27年度決算額】 2,562千円</p> <p>【指標等の達成状況】 郷土の偉人、伊東満所 (マンショ) を顕彰するためのイベント等の実施について、概ね達成できた。</p>
(9) 都於郡城跡ガイダンスセンター建設事業	<p>【目的】 都於郡城跡の発掘調査も進み国指定の史跡となり、中世の日向伊東48城の牙城であった都於郡城の全貌が見えてきた。発掘調査までで終わるのではなく、この発掘調査の結果等を地域観光資源として活用するため、本事業を実施する。</p> <p>【内容】 中世の日向伊東48城の牙城であった都於郡城の案内説明及び、伊東満所 (マンショ) 関係資料の展示、物産販売等を兼ね備えた、ガイダンスセンター建設事業の推進</p> <p>【効果】 本事業により、伊東満所 (マンショ) の生まれた都於郡城跡 (国史跡) のガイダンスを行い、併せて、郷土の偉人「伊東満所 (マンショ)」の歴史的価値を再認識することができる。さらに、中世伊東48城の牙城 (都於郡城) と天正遣欧少年使節の首席伊東満所 (マンショ) のブランドにより地域の活性化が見込める。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 156千円</p>	<p>○都於郡城跡ガイダンスセンター建設に向けた、準備部会による資料収集・調査研究を促し、地域住民の意識の醸成を図った。</p> <p>【平成27年度決算額】 231千円</p> <p>【指標等の達成状況】 建設検討委員会委員の開催 (3回開催)、県外視察を実施し、建設推進を図った。展示資料調査・研究のため、県外視察を2回実施して、展示資料のリスト化を行った。また、建設検討委員会を7月、12月、3月の3回実施して、建設推進を図った。指標の達成状況については、概ね達成できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(10) 文化振興事業	<p>【目的】 市民の芸術文化振興を図るため、西都市総合文化祭等の西都市主催事業の開催及び市内の芸術文化団体を支援する。</p> <p>【内容】 西都市総合文化祭として美術展と芸能大会を開催し、美術品の出品者や市内で活動する芸能団体の活動意欲の向上を図る。また、市内で活動する芸術文化団体の活動を支援するため、事業費補助を行い文化振興を進めていく。</p> <p>【効果】 市民の文化意識が向上することにより、心が安定し生活意欲が向上する。また、市民に発表と鑑賞の機会を提供することにより、参加した人には更なる創造意欲の向上を、鑑賞した人には身近な地元の作品や芸能に触れることにより芸術文化活動への参加を促す。</p> <p>【指標】 総合文化祭来館者数 1,300人 【平成27年度当初予算額】 1,240千円</p>	<p>西都市自主文化事業 ・西都市合唱祭 (3月12日) 西都市総合文化祭 ・美術展 出展総数 119点 (10月17日～25日) ・芸能大会 (11月3日) 芸術文化団体支援 西都市文化連盟、西都市美術協会</p> <p>【実績】 総合文化祭来館者数 1,373人 【平成27年度決算額】 1,323千円</p> <p>【指標等の達成状況】 市のホームページやフェイスブック等を活用して情報発信を行い、総合文化祭来館者数については指標に達した。</p>
(11) 歴史民俗資料館管理運営事業	<p>【目的】 文化遺産に対する市民の意識向上と理解を深めるために歴史民俗資料の保存と展示の内容充実を図る。</p> <p>【内容】 ○歴史民俗資料館の管理運営 ○企画展の開催</p> <p>【効果】 企画展を開催することにより、文化遺産に対する市民の意識向上と理解が更に深められる。</p> <p>【平成27年度当初予算額】 4,310千円</p>	<p>○歴史民俗資料館の管理運営 収蔵庫ガス燻蒸・エレベーター保守点検・警備委託等</p> <p>○企画展「伊東満所（マンショ）と銀鏡神楽ミラノ万博公演」 展示内容 9月に実施されたイタリア ミラノでの「伊東満所（マンショ）」の肖像画視察と「銀鏡神楽」のミラノ万博公演の様子をパネル展として報告。 期 間 平成28年2月16日（火）～3月6日（日） 入館者数 大人336名 小人 77名 合計413名</p> <p>【平成27年度決算額】 4,196千円</p> <p>【指標等の達成状況】 ガス燻蒸や、夜間や休日の機械警備を行い、歴史民俗資料の保存を的確に行った。また、企画展を実施し、入館者増を図った。（年間入館者数2,050人）指標としては、年間入館者数1,500人以上で概ね達成できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価																																							
(12) 市史編さん事業	<p>【目的】 西都市の市史を編さんすることにより、郷土の歴史を記録し、市民に広く理解してもらうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える。</p> <p>【内容】 西都市史編さん基本計画に基づき、西都市関係資料の調査・収集・保存に努め、委員会等を開催して執筆活動を進める。 ○編さん委員会、編集委員会の開催 ○西都市関係資料の調査・収集・保存 ○資料保管室の環境整備</p> <p>【効果】 市史の発刊は、地域の歴史的経過を記録し、市民に広く理解してもらうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える役割を果たす。また、市関係の歴史資料を調査・収集・保存し、市の文化活動に活用できるように整備する。</p> <p>【指標】 市史発刊 通史編・年表編 各1, 000部 【平成27年度当初予算額】 38,941千円</p>	<p>○編さん委員会、編集委員会の開催 ・編さん委員会 2回開催 事業の進行管理、特に「通史編」・「年表編」の最終確認を行い印刷製本の決定を行った。 ・編集委員会 5回開催 執筆内容の検討、原稿提出状況確認、原稿編集の進捗状況確認、年表様式の最終決定</p> <p>○西都市関係資料の調査・収集・保存 ・西都市関係新聞記事調査、収集した資料の分類・整理・保存 ・資料調査用作業台、資料調査用サーバ無停電電源装置整備</p> <p>○資料保管室の環境整備 ・害虫駆除のための燻蒸を実施(年1回)</p> <p>【実績】 通史編・年表編、各1, 000部の印刷製本を完了した。 【平成27年度決算額】 38,837千円</p> <p>【指標等の達成状況】 西都市史「通史編」・「年表編」の印刷・製本については、予定通り実施することができた。</p>	5																																						
(13) 市民会館管理事業	<p>【目的】 市民会館から市民に向けた芸術文化の情報発信や施設整備など、市民会館の管理運営を行う。</p> <p>【内容】 平成23年度から指定管理者による管理運営となったが、市民の文化、教養及び福祉の増進を図るため、引き続き会館としての役割を継続する。ホール及び会議室等の貸し出し、文化事業の運営のためには、各種保守点検を定期的に行い、利用者の利便性・安全性を確保しておく必要がある。</p> <p>【効果】 市民の文化芸術鑑賞や舞台発表など、文化交流の場としての環境確保が図られる。</p>	<p>西都市市民会館文化事業 (9事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 音楽の絵本 (400名)</td> <td>6月7日(日)</td> </tr> <tr> <td>(2) さいと子どもフェスティバル (513名)</td> <td>7月5日(日)</td> </tr> <tr> <td>(3) 第16回オカリナ太鼓コンサート (822名)</td> <td>9月13日(日)</td> </tr> <tr> <td>(4) 西都市市民会館プレゼンツMR Tラジオうたまつり (860名)</td> <td>9月27日(日)</td> </tr> <tr> <td>(5) 演劇「南阿佐ヶ谷の母」 (545名)</td> <td>11月24日(火)</td> </tr> <tr> <td>(6) サウンドスクエア12 (487名)</td> <td>12月20日(日)</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ「ファーストインパクト」(60名)</td> <td>11月29日(日)</td> </tr> <tr> <td>〃 (40名)</td> <td>2月7日(日)</td> </tr> <tr> <td>(7) 友近プレゼンツ水谷千重子コンサート (1,007名)</td> <td>1月31日(日)</td> </tr> <tr> <td>(8) 陸上自衛隊第8音楽隊演奏会 in 西都 (550名)</td> <td>2月14日(日)</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>(9) 第1回ロビーコンサート (37名)</td> <td>4月12日(日)</td> </tr> <tr> <td>ギター演奏 (個人)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回ロビーコンサート (72名)</td> <td>5月17日(日)</td> </tr> <tr> <td>一夜の歌声喫茶 (西都レクレーション協会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3回ロビーコンサート (40名)</td> <td>12月4日(金)</td> </tr> <tr> <td>ギター演奏 (フォークレインボー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回ロビーコンサート (45名)</td> <td>1月9日(土)</td> </tr> <tr> <td>吹奏楽 (西都吹奏楽団)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5回ロビーコンサート (120名)</td> <td>3月26日(土)</td> </tr> </table>	(1) 音楽の絵本 (400名)	6月7日(日)	(2) さいと子どもフェスティバル (513名)	7月5日(日)	(3) 第16回オカリナ太鼓コンサート (822名)	9月13日(日)	(4) 西都市市民会館プレゼンツMR Tラジオうたまつり (860名)	9月27日(日)	(5) 演劇「南阿佐ヶ谷の母」 (545名)	11月24日(火)	(6) サウンドスクエア12 (487名)	12月20日(日)	ワークショップ「ファーストインパクト」(60名)	11月29日(日)	〃 (40名)	2月7日(日)	(7) 友近プレゼンツ水谷千重子コンサート (1,007名)	1月31日(日)	(8) 陸上自衛隊第8音楽隊演奏会 in 西都 (550名)	2月14日(日)	(9) 第1回ロビーコンサート (37名)	4月12日(日)	ギター演奏 (個人)		第2回ロビーコンサート (72名)	5月17日(日)	一夜の歌声喫茶 (西都レクレーション協会)		第3回ロビーコンサート (40名)	12月4日(金)	ギター演奏 (フォークレインボー)		第4回ロビーコンサート (45名)	1月9日(土)	吹奏楽 (西都吹奏楽団)		第5回ロビーコンサート (120名)	3月26日(土)	4
(1) 音楽の絵本 (400名)	6月7日(日)																																								
(2) さいと子どもフェスティバル (513名)	7月5日(日)																																								
(3) 第16回オカリナ太鼓コンサート (822名)	9月13日(日)																																								
(4) 西都市市民会館プレゼンツMR Tラジオうたまつり (860名)	9月27日(日)																																								
(5) 演劇「南阿佐ヶ谷の母」 (545名)	11月24日(火)																																								
(6) サウンドスクエア12 (487名)	12月20日(日)																																								
ワークショップ「ファーストインパクト」(60名)	11月29日(日)																																								
〃 (40名)	2月7日(日)																																								
(7) 友近プレゼンツ水谷千重子コンサート (1,007名)	1月31日(日)																																								
(8) 陸上自衛隊第8音楽隊演奏会 in 西都 (550名)	2月14日(日)																																								
(9) 第1回ロビーコンサート (37名)	4月12日(日)																																								
ギター演奏 (個人)																																									
第2回ロビーコンサート (72名)	5月17日(日)																																								
一夜の歌声喫茶 (西都レクレーション協会)																																									
第3回ロビーコンサート (40名)	12月4日(金)																																								
ギター演奏 (フォークレインボー)																																									
第4回ロビーコンサート (45名)	1月9日(土)																																								
吹奏楽 (西都吹奏楽団)																																									
第5回ロビーコンサート (120名)	3月26日(土)																																								

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【指標】 市民会館利用者数 40,000人 【平成27年度当初予算額】 40,819千円</p>	<p>ギター演奏 (ハイボール)</p> <p>【実績】 市民会館利用者数 36,965人 【平成27年度決算額】 41,130千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている市民会館利用者数の達成度は、約90%であった。</p>

総合評価

「教育委員会の活動」については、教育委員会の付議事件等を事前に教育委員に配布することにより、活発な協議が行われました。平成27年度より設置されました総合教育会議において、市長と教育長を含めた教育委員5名による会議を4回行い、「西都市教育大綱」が策定されました。また、学校の現況を把握するための学校訪問や各種教育委員研修などについても例年同様に積極的に参加しました。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、概ね執行しています。特に平成27年度においては、「第四次西都市総合計画後期計画」（平成28年度～32年度）及び「西都市教育大綱」が策定されたため、整合性を図るため毎年度策定します「教育基本方針」についても見直しを行い、平成28年4月に「平成28年度教育基本方針」を策定しました。また、平成28年3月に西都市教育振興基金条例を制定したことに伴い「西都市教育振興基金条例施行規則」を制定するなど5件の規則の制定または一部改正並びに規程1件の一部改正を行い、より現状に即した法整備に努めました。

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、今回より昨年度の点検・評価委員の意見を踏まえ、より具体的な取組評価を報告できますように各事業の点検・評価欄に「指標等の達成状況」の項目を設けました。

その各事業の達成状況に基づく平成27年度の達成度については、達成度が5に満たない事業は、前年度の9事業に対し6事業となり、改善が図られた事業もある反面、十分な事業執行ができていないものもありました。

今後も、各事業の達成度が更に高まるよう、「第4次西都市総合計画」、「西都市教育大綱」及び「教育基本方針並びに教育施策」に基づいて、各事業の取組内容、実績、課題等を検証しながら、更に事業推進に鋭意努力いたします。

点検・評価委員の意見

平成27年度に実施した教育委員会の権限に属する事務の執行に関する点検・評価については、第4次西都市総合計画及び教育基本方針並びに教育施策に基づく目標に向けて、概ね予定どおり実施できており、達成状況は良好であると判断します。大項目ごとの意見については、以下のとおりであります。

「教育委員会の活動」については、各委員が毎月の会議や研修会に参加するとともに、積極的な情報公開を図るなど、活発な活動が展開されています。特に、平成27年度から新たに市長との連携を図るための総合教育会議が開催され、今後の実効性のある事業等に資する議論がなされるなど、十分評価できる取組となっています。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、例年執行されている事務に加えて、第4次西都市総合計画後期計画及び西都市教育大綱が策定され、これに併せて、平成28年度教育基本方針並びに教育施策の見直しを行うなど、良好な実績として評価できます。

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、概ね達成されています。特に、平成27年度末で学校耐震化率が100%となり、安全安心な学校教育環境が整ったことはすばらしいことでもあります。また、文化財の保存・活用関連において、日向国府跡の遺構発掘調査等の過程で、市民説明会の開催を行うなど市民サービスの観点から、大きく評価できるものであります。また、継続事業として行ってきた市史編さん事業において、平成27年度末に予定どおり、西都市史の発刊ができたことも十分評価に値するものであります。一方で、達成度が5段階評価の「5」に満たない事業が、6事業あります。これらの事業については、今後も継続すべき事業であることから、目的を達成するための内容の充実や市民等への周知など、様々な検討を図っていただくことを要望します。

最後に、「教育施策を的確に実施するとともに、住民に対する説明責任を果たす」とした自己点検・評価の考え方を十分考慮の上、更に充実した執行状況と分かりやすい「教育委員会の権限に属する点検・評価」となることを期待します。